

第52回「議員と語りかい」報告書

地域テーマ型（No.1）

開催日	令和 8年 7月 27日 19時 00分 ～ 20時 30分		
開催場所	霧島公民館		
団体名	地域テーマ型（霧島地区）	参加人員	20人 (男 16人:女 4人)
出席議員	木野田 誠・久保 史睦・香山 二郎・久木田 大和・山口 仁美・宮内 博・竹下 智行・植山 太介・稲留 誠也		
役割分担	班 長（ 木野田 ）副班長（ 久保 ）記録係（ 稲留 ）		
テーマ及び具体的な内容	「霧島の魅力をもっと～霧島の暮らしや観光の魅力アップを目指すには～」		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な話題等

県道60号線および関連道路の整備に関して

◆支所前の交差点は、右折車が多いために渋滞や事故の原因になっているので、時差式信号にするなどして、早期に解決すべき。

◇主に管轄は県になる案件だが、既に県には要望しているのか。

◆まだしていない。今後優先して対応いただけるように、県とあわせて市にも要望したい。

霧島神宮駅周辺の整備に関して

◆かつて駅前に建っていた猿田彦像の再建ができないか。「神宮への出発点」という霧島神宮駅前のリニューアルコンセプトの象徴として、今後大いに活用できると期待している。

霧島神水峡周辺の観光整備に関して

◆神水峡の人口滝のライトアップ設備が現在活用されていないので、今後活用できないか。

◇ライトアップされていないのは球切れか何かが原因なのか。

◆以前は観光協会にてタイマーをつけて対応していたが、ある時からできていない。観光協会が管轄なので詳細は問い合わせる必要があるが、管理者としては市になるので今後確認、復活の検討をしてほしい。

◆観光地らしく、若者も集まるような映える場所にして、新たな観光素材として活用してほしい。

◆神水峡入り口が非常に狭く、離合も難しい。事故の原因にもなっている所以、早期の是正を求める。

霧島神宮駅前の街灯維持管理に関して

◆今後霧島神宮駅周辺の街灯を市がリニューアルできないか。

◇現状は地元でどのように維持管理しているのか。

◆かつて通り会が市の補助金を利用して設置したが、商店街の高齢化や店舗の閉店で維持が難しくなっている。

今後通り会単位での維持管理は難しい一方、市民の安全に関わる重要な設備であるため、市が設置、管理する体制が望ましいのではないかと。

観光道路の維持管理と景観に関して

◆観光客が往来する市道に関して、通行に影響するような木々の管理不足や、刈った後の草が歩道に堆積している状態など、景観も損ねている現状をどうにかしてほしい。たまに電話をすると職員が出向いて対応していることもあり、草刈りをする業者にも依頼する余裕がないのかと感じてしまう。

◇職員が対応しているケースがあることは初めて知った。歩道への草の放置は作業途中の場合もあるので一概に全てを是正できるとは言えないが、管理体制について問題がないかは市にも確認する。

「霧島神楽」の継承課題に関して

◆移住して以降、霧島神楽に携わっているが、担い手不足と高齢化が著しく、継承することが難しくなっている感じる。

◆長年の体験者として、PR不足もあるのではないかと感じる。また、稽古でも不満があり、みんなで真剣に語り合う雰囲気は感じられなかったので、振興会の体質的な課題を感じる。

移住者が頑張っている中、地元ももっと頑張らなければならない。

◇他地区の盆踊り保存会などは、小中学校への出前体験などを通じて会員の増に取り組んでいる。神楽も同様の工夫が必要になってくるのではないかな。

教育環境の改善に関して

◆民生委員を務める中で学校見学を行ったら、建物の老朽化に驚かされた。子供たちの教育環境として不適切な状態だと思うが、どう感じるか。

◇この夏に霧島中学校の体育館は改修予定である。しかし、これまでも国分隼人地区の学校改修が優先され、中山間地域は後回しにされているように感じるので、この件は以前から市当局に指摘してきた。子供たちの安全に関わることでもあるので、老朽箇所にはすぐに対応できるような方法を考えなければならないと認識している。

◆通学路は暑さで非常に危険であり、子供がびっしょり汗で濡れて帰宅する様子を見ると心配になる。クールスポットなど、対策を考えた方が良いのではないかな。ぜひ教育面全般の予算をしっかりと確保してほしい。